

週間火山概況 (平成 25 年 7 月 19 日 ~ 7 月 25 日)

【火山現象に関する警報及び予報の発表状況】

25日13時に、秋田焼山に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表し、噴火警戒レベルの運用を開始しました。

その他の火山については、噴火に関する予報警報事項（警戒が必要な事項）に変更はありません。

表1 火山現象に関する警報及び予報の発表履歴（7月19日～7月25日）

発表日時	火山名	警報・予報	概要
25日 13時00分	秋田焼山	噴火予報	噴火警戒レベルの運用を開始
19日 07時57分 12時20分 20日 16時30分 21日 20時18分 22日 16時38分 16時58分 23時52分	桜島	降灰予報	噴火に伴う降灰地域予想
毎日 07時、17時	三宅島	火山ガス予報	島内の火山ガスの分布予想

表2 7月25日現在の噴火警報・予報の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	霧島山(新燃岳)、桜島
	レベル2(火口周辺規制)	三宅島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報(周辺海域)	周辺海域警戒	福德岡ノ場
噴火予報	レベル1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山(御鉢)、口永良部島、薩摩硫黄島
	平常	上記以外の活火山

印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中。



図1 噴火警報及び火山現象に関する海上警報を発表中の火山（7月25日現在）

この資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）にも掲載しています。

【警報発表中の火山の活動状況及び警報事項】

三宅島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

今期間、噴煙高度は、火口縁上 100～200mで経過しました。

火山性地震は、少ない状態で経過しました。

三宅村によると、山麓ではまれにやや高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

山頂火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に警戒してください。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では、火山ガスに警戒してください。

硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]

火山性地震は、20日に一時的に増加したほかは、少ない状態で経過しました。

国土地理院の観測によると、地殻変動は2013年4月頃からほぼ停滞していましたが、5月頃から隆起の傾向がみられています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生している地点（旧噴火口等）及びその周辺では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場 [噴火警戒（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

今期間、海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁による上空からの観測は行われませんでした。これらの機関によるこれまでの上空からの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されており、今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。

霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

新燃岳では今期間、噴火は発生しませんでした。

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。

傾斜計¹⁾では、火山活動に伴う特段の変化は認められませんでした。

国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う地盤の伸びの傾向は2011年12月以降鈍化・停滞しています。一部の基線で、2012年5月頃からわずかな縮みの傾向がみられ、同年9月頃から停滞していましたが、2013年4月頃からわずかな縮みの傾向がみられます。

しかし、現在でも火口には高温の溶岩が溜まっており、引き続き、小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。新燃岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石²⁾（火山れき³⁾）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。噴火警報や霧島山上空の風情報に留意してください。降雨時には泥流や土石流に警戒してください。降雨に関する情報に留意してください。

桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

桜島では、活発な噴火活動が続いています。

昭和火口では、爆発的噴火が26回発生しました。このうち21日08時21分と20時02分の爆発的噴火では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が3合目（昭和火口より1300から1800m）まで達しました。また、19日07時37分の爆発的噴火ではやや多量の噴煙が火口縁上3400mまで上がりました。同火口では、夜間に高感度カメラ⁴⁾で明瞭に見える火映を19日に観測しました。

南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

22日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり1,600トン（前回12日、2,400トン）とやや多い状況でした。

国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、桜島島内の基線では、2011年11月頃から伸び、2012年7月頃からその鈍化が見られましたが、2013年2月頃からわずかな伸びの傾向が見られます。鹿児島（錦江）湾を挟む一部の基線で、長期的な伸びの傾向が続いています。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石²⁾（火山れき³⁾）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れ

るなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳火口では今期間、噴火は発生しませんでした。長期にわたり噴火を繰り返しています。火山性地震は少ない状態で経過しています。24日から火山性微動が連続して発生しています。同火口では、夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を19日に観測しました。今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石²⁾が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

【噴火予報発表中の火山の活動状況及び予報事項】

樽前山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

7月8日から樽前山の西側約3km付近を震源とする地震が増加しています。26日09時32分(期間外)には、マグニチュード2.1の地震が発生しました。震度1以上を観測する地震は発生していません。火山性微動は発生しておらず、噴気活動や地殻変動に特段の変化はありません。樽前山では火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。A火口、B噴気孔群及びH亀裂では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

上記以外の火山では、期間中、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。
- 2) 噴石については、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 3) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。
- 4) 九州地方整備局大隅河川国道事務所が黒神河原上流に設置したカメラ等によります。

注) 本資料は速報的な内容を含みます。データについては精査により、後日修正することがあります。詳細については、毎月発表の火山活動解説資料を参照してください。

http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm

【参考】 噴火警報・予報と噴火警戒レベル等の対応表

噴火警戒レベル対象火山	噴火警戒レベル対象外の火山	
噴火警戒レベル(キーワード)	警報・予報	警戒事項等(キーワード)
レベル5(避難)	噴火警報	居住地域嚴重警戒 または山麓嚴重警戒*
レベル4(避難準備)		
レベル3(入山規制)	火口周辺警報	入山危険
レベル2(火口周辺規制)		
レベル1(平常)	噴火予報	平常

*居住地域が不明確な場合

海底火山については、噴火警報(周辺海域)(キーワード:周辺海域警戒)と噴火予報(キーワード:平常)で発表します。